

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 20 日

新潟市長 殿

提出者

住所 新潟県新潟市中央区笹口2-12-7

氏名 日本道路株式会社 北信越支店
執行役員支店長 堀 吉伸

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-245-5506

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本道路株式会社 北信越支店
事業場の所在地	新潟市内の現場
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	舗装工事業
②事業の規模	元請完成工事高 385 百万円
③従業員数	54名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・がれき 自社で中間処理(破碎)→再生砕石として再資源化 再生処理業者へ委託→再生砕石として再資源化・廃プラスチック 再生処理業者へ委託→原料として再資源化・金属くず 再生処理業者へ委託→原料として再資源化・木くず 再生処理業者へ委託→木材チップとして再資源化・建設混合廃棄物 再生処理業者へ委託→原料として再資源化および残さを安定型廃棄物として最終処分・汚泥 再生処理業者へ委託→再資源化・その他がれき類 中間処理(破碎)→最終処分(埋立)・紙くず 再生処理業者へ委託→原料として再資源化・廃アルカリ 再生処理業者へ委託→再資源化・廃油 再生処理業者へ委託→原料として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙 管理体制図の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度 (5 年度) 実績】		別紙集計シートの通り						
① 現 状	産業廃棄物の種類									
	排 出 量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類									
	排 出 量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)										
全社取り組みで4分別(廃プラ・金属くず・木くず・混合廃棄物)による混合廃棄物の減量化を行っている										
		【目標】		別紙集計シートの通り						
② 計 画	産業廃棄物の種類									
	排 出 量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類									
	排 出 量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)										
継続して4分別(廃プラ・金属くず・木くず・混合廃棄物)による混合廃棄物の減量化を行い再資源化率を上げていく										

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現 状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)									
	がれき類は100%再生化し、他については4分別(廃プラ・金属くず・木くず・混合廃棄物)を実施									
② 計 画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)									
	①を継続して実施する									

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状		【前年度 (5 年度) 実績】		別紙集計シートの通り					
産業廃棄物の種類									
新 潟 市 長 産 業 廃 棄 物 の 量		t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量		t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
実施していない									
② 計画		【目標】		別紙集計シートの通り					
産業廃棄物の種類									
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量		t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量		t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状		【前年度 (5 年度) 実績】		別紙集計シートの通り					
産業廃棄物の種類									
自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量		t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量		t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
がれき類の中間処理(破碎)施設があるので、近隣工事のがれき類は自己処理している									
② 計画		【目標】		別紙集計シートの通り					
産業廃棄物の種類									
自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量		t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量		t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
がれき類の近隣工事については自己処理していく									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（5年度）実績】		別紙集計シートの通り							
①現状	産業廃棄物の種類								
	新潟市長 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
実施していない									

【目標】		別紙集計シートの通り							
②計画	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（5年度）実績】		別紙集計シートの通り							
①現状	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施、がれき類は100%再生。他は発生種類が少ないが、4分別（廃プラ・金属くず・木くず・混合廃棄物）を実施し、減量化を実施。									

【目標】		別紙集計シートの通り								
① 計 画	産業廃棄物の種類									
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者 への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	産業廃棄物の種類									
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者 への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	(今後実施する予定の取組)									
	再生利用、熱回収が可能な廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者に処理委託する。委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。									
※事務処理欄										

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	日本道路株式会社 北信越支店執行役員支店長 堀 吉伸	提出者の住所	新潟県新潟市中央区笹口2-12-7
事業場の名称	日本道路株式会社 北信越支店	事業場の所在地	新潟市内の現場
内容年度	6 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状 / 計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況					
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量				
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J	
汚泥	現状	13.78	0.00	0.00	0.00	0.00	13.78	0.00	13.78	0.00	0.00	
	計画	9.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9.00	0.00	9.00	0.00	0.00	
廃プラスチック	現状	3.89	0.00	0.00	0.00	0.00	3.89	1.33	3.89	0.00	0.00	
	計画	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	0.00	
木くず	現状	20.79	0.00	0.00	0.00	0.00	20.79	0.44	20.79	0.00	0.00	
	計画	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	15.00	0.00	15.00	0.00	0.00	
金属くず	現状	438.63	0.00	0.00	0.00	0.00	438.63	0.11	438.63	0.00	0.00	
	計画	300.00	0.00	0.00	0.00	0.00	300.00	0.00	300.00	0.00	0.00	
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	現状	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	計画	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.00	
がれき類	現状	2,257.08	0.00	0.00	420.33	0.00	1,836.75	0.00	1,836.75	0.00	0.00	
	計画	1,700.00	0.00	0.00	300.00	0.00	1,400.00	0.00	1,400.00	0.00	0.00	
廃油	現状	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	0.00	
	計画	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00	0.00	
建設混合廃棄物	現状	13.53	0.00	0.00	0.00	0.00	13.53	0.47	13.53	0.00	0.00	
	計画	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	10.00	0.00	10.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	現状	2,750.70	0.00	0.00	420.33	0.00	2,330.37	3.35	2,330.37	0.00	0.00	
	計画	2,038.00	0.00	0.00	300.00	0.00	1,738.00	0.00	1,738.00	0.00	0.00	

○廃棄物処理に関する管理体制

統括責任	組織名：北信越支店 役職：執行役員支店長
廃棄物担当	組織名：安全環境品質部 組織人数：3人
支店環境委員会	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要事項を検討する ・委員長－支店長 ・副委員長－安全環境品質部長及び課長 ・委員－関連部署部長 8人 ・事務局－安全環境品質部
役割	○廃棄物処理に関する検討 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
割	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○技術管理者等の設置 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育、啓発 ○その他関係する事項

○廃棄物処理に関する管理体制

